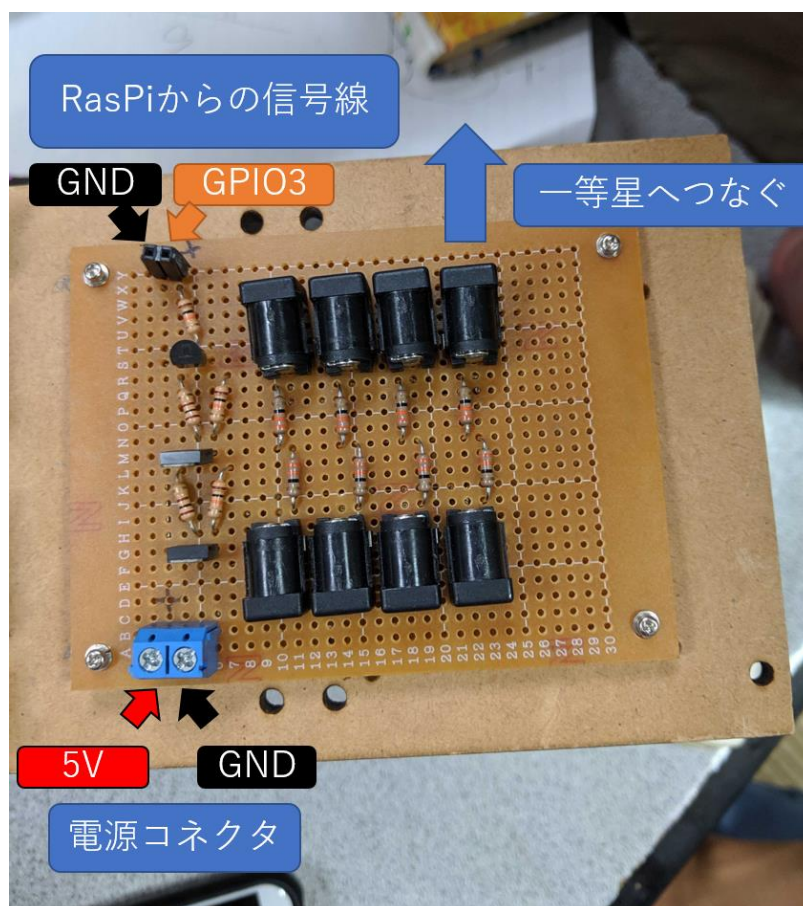


構造球の中に入れる基板

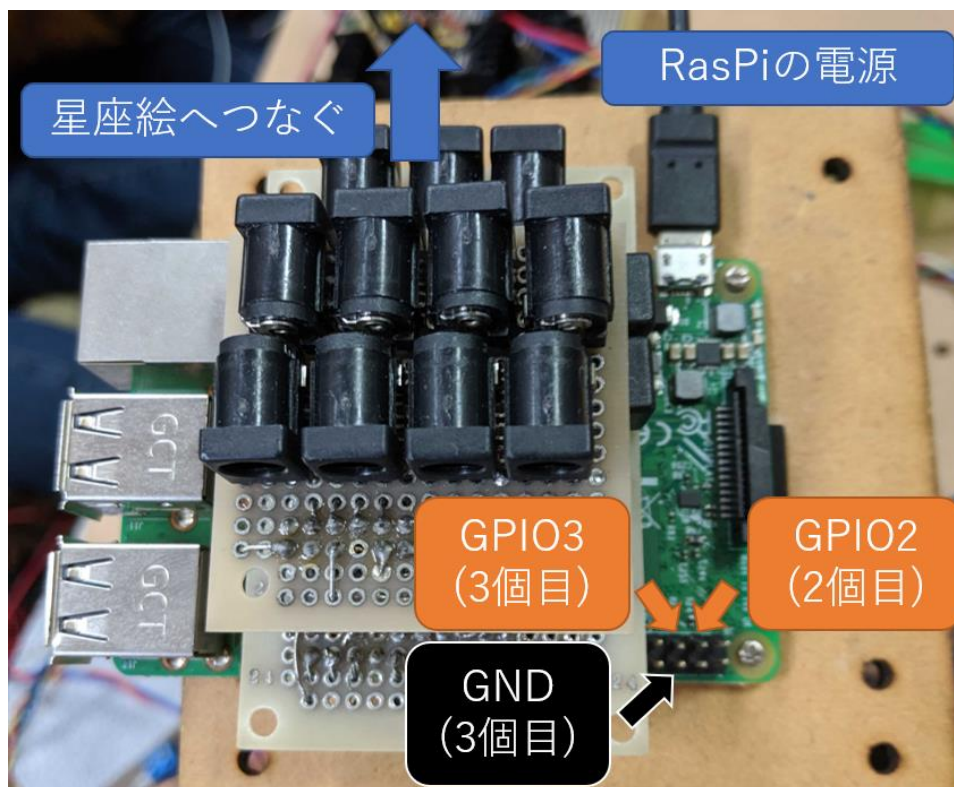
①一等星基板



②投影筒基板



③星座絵基板(Raspberry Pi 上に設置済み)



設置手順

(1) 一等星基板と投影筒基板を電源と接続する。ケーブルの白いコネクタ部分を一等星基板の「電源コネクタ」の部分に差し込む。ケーブルの端子がついていない部分を投影筒基板の「5V、GND」の部分に差し込む。Y 端子のついた部分は電源に接続する。(下图参照)

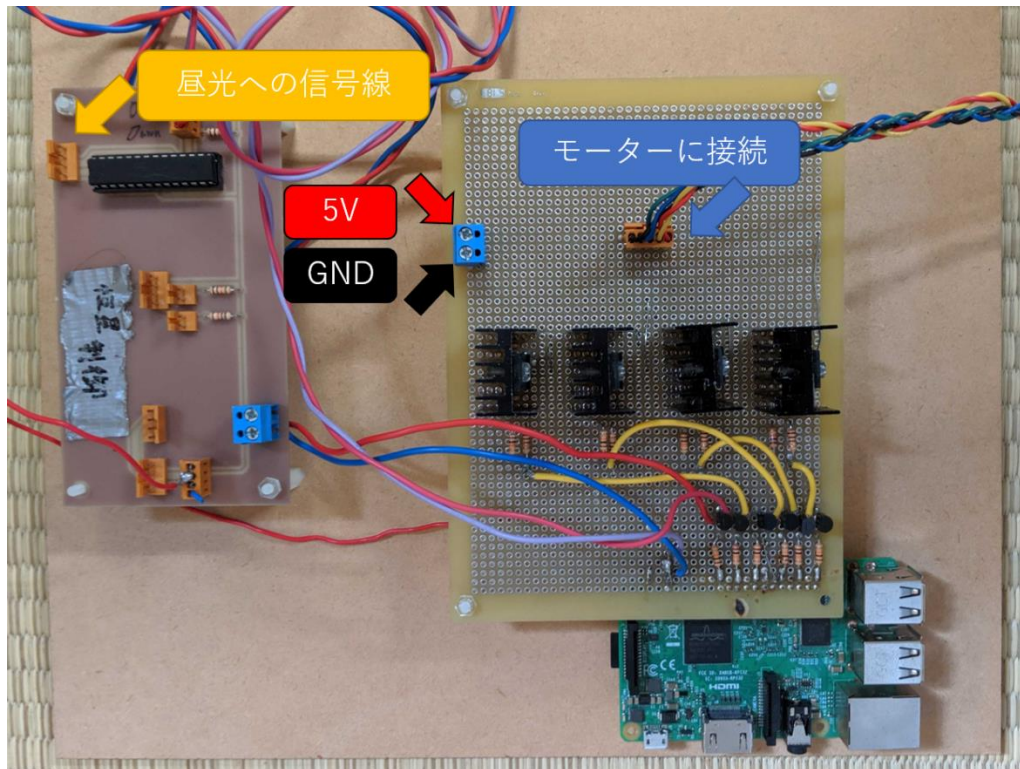


(2) Raspberry Pi の「GND、GPIO2、GPIO3」と一等星基板の「GND、GPIO2」、投影筒基板の「GND、GPIO3」を接続する。

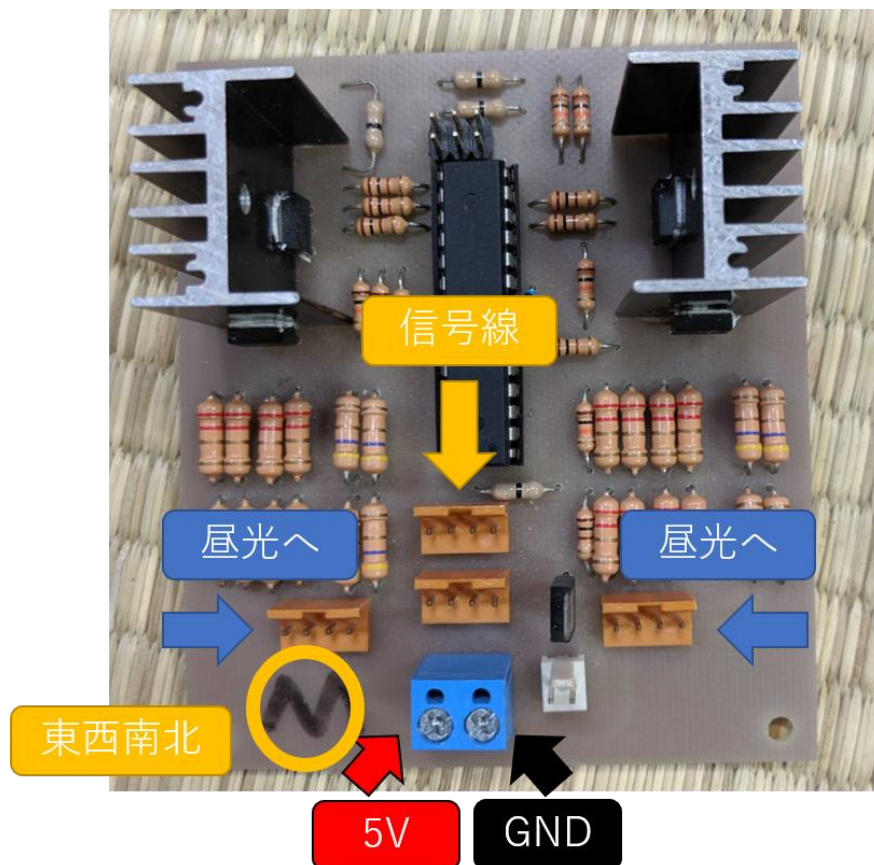
(3) Raspberry Pi の「RasPi の電源」部分に AC アダプタの USB 端子を接続

外側に置く基板

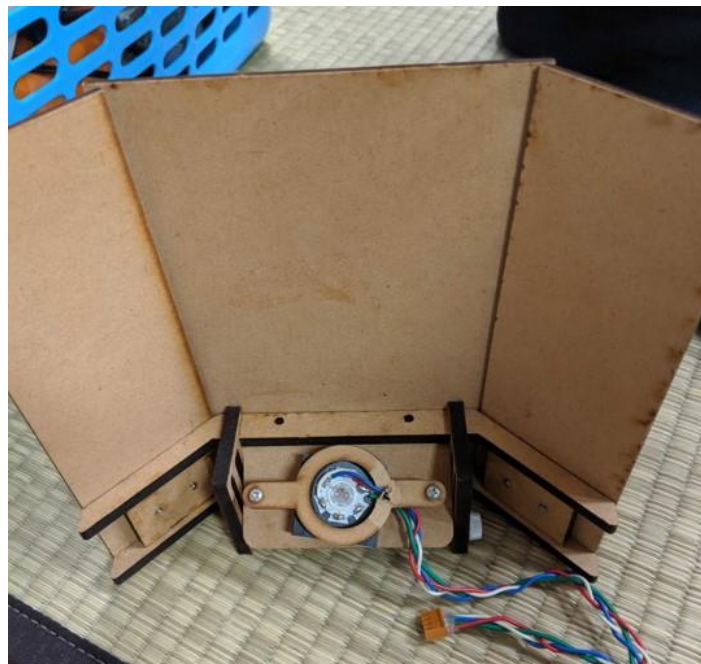
①モーター+昼光親基板



②昼光子基板×4 (NSEW で区別あり)



③昼光× 8



設置手順

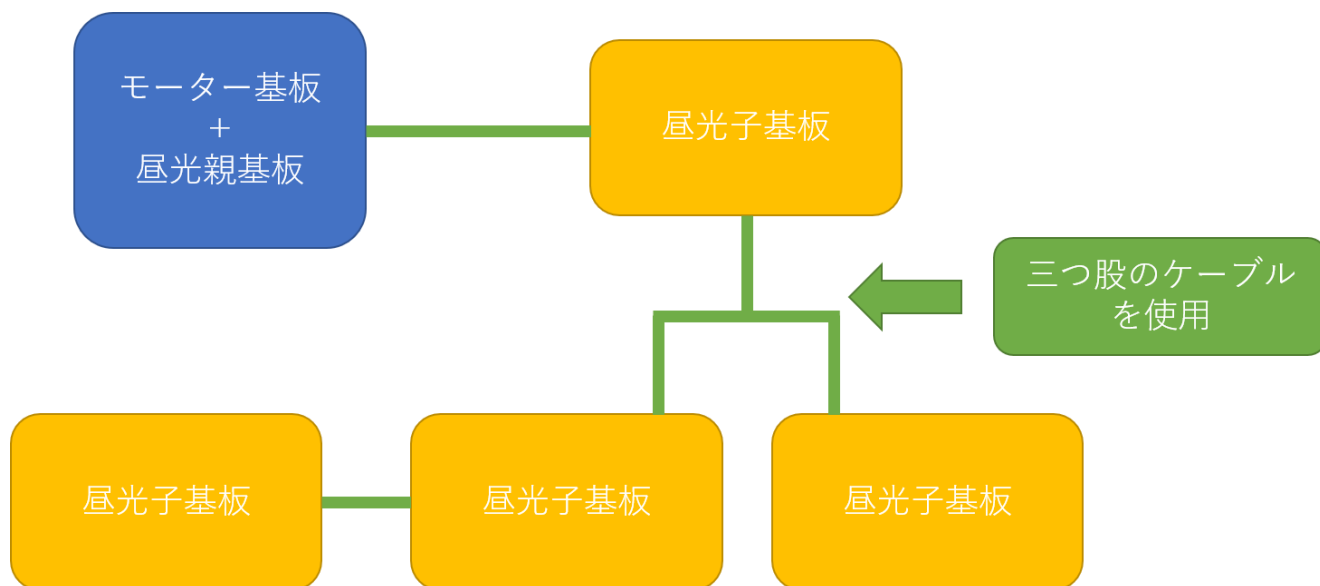
(1) モーター基板と電源を接続する。使用するケーブルは、片方が Y 端子でもう片方には端子がないケーブル。



(2) モーターとモーター基板を接続



(3) 昼光親基板の「昼光への信号線」の部分と昼光子基板の「信号線」部分を接続。昼光子基板の「信号線」部分は2か所あるが、どちらを使用してもよい。接続経路は下図を参照



(4) 昼光子基板の「昼光へ」の部分と昼光を接続。延長ケーブルがあるので、それを使って延長する。



(5) 昼光子基板の「GND、5V」と電源を接続する。使用するケーブルはモーター基板の電源と同じで片方が Y 端子でもう片方が端子なしのもの

